



平成 27 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 J B C C ホールディングス株式会社  
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 山 田 隆 司  
(コード番号 9889 東証第一部)  
問合せ先 取締役常務執行役員 経営管理担当 一木一夫  
( T E L 0 3 - 5 7 1 4 - 5 1 7 1 )

## 第 2 四半期連結業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期第 2 四半期末において、平成 27 年 4 月 30 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間(連結)の業績予想と実績の差異及び通期(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)の業績予想(連結)の修正について下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異

##### (1) 差異の内容

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前 回 発 表 予 想 (A)	45,000	700	730	380	22.33
今 回 実 績 (B)	44,187	906	870	50	2.97
増 減 額 (B - A)	△812	206	140	△329	
増 減 率 (%)	△1.8	29.5	19.2	△86.7	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	44,314	583	669	305	17.96

##### (2) 差異の理由

当社連結子会社の J B アドバンスト・テクノロジー株式会社の生産管理システム事業(旧株式会社リード・レックス)において想定していた収益の計上が遅れていることを考慮し、のれんの回収可能性を検討した結果、のれんの全額を減損処理し、減損損失として 453 百万円を特別損失に計上いたしました。これにより、親会社株主に帰属する四半期純利益につきまして、前回公表した予想より 329 百万円(△86.7%)の減益となり、公表数値を下回りました。

全般的には収益の向上に注力したことから、営業利益、経常利益につきましては、公表数値を上回る結果となっております。

## 2. 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

### (1) 修正の内容

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	93,000	1,800	1,850	1,000	58.77
今回修正予想 (B)	90,000	1,800	1,750	700	41.14
増減額 (B - A)	△3,000	0	△100	△300	
増減率 (%)	△3.2	0.0	△5.4	△30.0	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	91,966	1,631	1,689	324	19.06

### (2) 修正の理由

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想において、売上高につきましては、平成 27 年 9 月 24 日に発表いたしました連結子会社株式売却等を反映し減額といたしました。営業利益につきましては、上期に引き続き収益の向上を柱としてビジネスを推進していくことを踏まえて当初の予想通りといたしました。経常利益につきましては、持分法による投資損失の下期分を考慮し減額といたしました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、今回の特別損失を反映させ減額といたしました。

(注) 上記の業績予想値は、現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上